

施策番号	2405		
施策名	重層的な住宅セーフティネット（安全網）の構築		
概要	高齢者，障害者，低額所得者等の住宅確保要配慮者に対し，安定した居住を確保するため，市営住宅をはじめ，これを補完する公的賃貸住宅や民間賃貸住宅等を活用した重層的なセーフティネットの構築を目指す。		
担当局・部室	都市計画局・住宅室	共管局・部室	
上位政策	24 住宅		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市住宅マスタープラン		

施策の評価

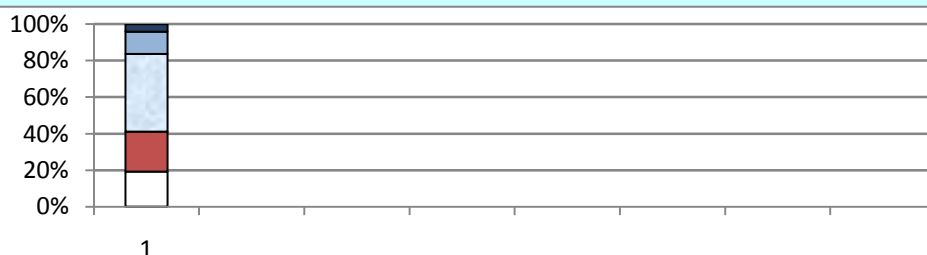
1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	バリアフリー化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	-	b	23	24	28	85.7%	b	1.00
2	高齢者向け賃貸住宅(高齢者向け優良賃貸住宅，サービス付き高齢者向け住宅)の戸数(戸)	-	-	—	680	458	148.5%	a	0.50
3	市営住宅の当該年度の公募戸数(戸)	-	b	677	708	700	101.1%	a	0.50
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。	20 4.1%	59 12.2%	206 42.6%	106 21.9%	93 19.2%	484	d
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						d



- そう思う
- どちらかと言いうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言いうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						23 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	d			
(重み付けの理由) 客観指標は、高齢者や低所得者等に対して、安全な住まいの供給状況を示しているが、市民 実感は、十分に確保できているかをより直接的に表す指標であるため								
(原因分析) ・高齢者向け優良賃貸住宅やサービス付き高齢者向け住宅、介護保険による住宅改修の支援に ついての認知が一定進んできているものの、高齢化の進行や生活・雇用が不安定である現状な どから、セーフティネットとしての住宅の確保に対する市民生活実感評価は低くなっていると考え られる。							年 度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	地域優良賃貸住宅（一般型）供給促進事業 （旧特定優良賃貸住宅供給促進事業）	916,993	941,111	かなり良い	都市計画局
2	久我の杜シニア住宅建設事業	9,920	9,779	良い	都市計画局
3	地域優良賃貸住宅（高齢者型）供給促進事業 （旧高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業）	102,952	109,746	良い	都市計画局
4	京都市あんぜん住宅改善資金融資制度	361,061	551,964	悪い	都市計画局
5	市営住宅	4,807,317	4,809,842	良い	都市計画局
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・住宅確保要配慮者の居住の安定を確保するための受皿として民間賃貸住宅の活用を進めるため、福祉分野等との連携や既存住宅の改修等による高齢者向けの優良な賃貸住宅の普及促進を進める。
- ・住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居の円滑化の推進や住宅確保要配慮者それぞれの属性に応じた住情報を一元的に提供できる仕組みを平成24年度中に構築する。

施策名	2405	重層的な住宅セーフティネット（安全網）の構築				
-----	------	------------------------	--	--	--	--

指標名	バリアフリー化による固定資産税の減額を受けた件数（件）					
-----	-----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	住宅政策課	連絡先	2 2 2 - 3 6 6 6			
-----	-------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

住宅のバリアフリー化による固定資産税の減額申請件数

2 指標の意味

住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新がなされていることを端的に示す指標

3 算出方法・出典等

出典：資産税課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	23	24	1件増	28	平成31年度の目標値として46件を設定し、現況値との差から直線補完により各年度の目標値を算出	85.7%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		46件	31年度	52.2%	京都市住宅マスタープランにおけるバリアフリー改修率の目標値への伸び率を参考として約2倍の伸び率と想定

5 評価基準

達成度（最新数値／単年度目標値）が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

達成度（単年度目標値に対する最新数値の割合）100%をaとし、20%ごとに区分

7 評価結果

	23	24
-	b	b

1 指標の説明

高齢者向けに整備された賃貸住宅の住戸（高齢者向け優良賃貸住宅，サービス付き高齢者向け住宅の戸数）

2 指標の意味

高齢者が安心して暮らせる住宅の提供戸数を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	—	680	—	458	高齢者向け優良賃貸住宅の過去の供給伸び率から算出した数値	148.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					高齢者住まい法の改正により、高齢者専用賃貸住宅を指標から外し、サービス付き高齢者向け住宅を新たに指標に含んでいる。

5 評価基準

達成度（最新数値／単年度目標値）が
a：90%以上
b：80%以上90%未満
c：70%以上80%未満
d：60%以上70%未満
e：60%未満

6 基準説明

達成度（単年度目標値に対する最新数値の割合）が90%以上をa，以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

	23	24
-	-	a

施策名	2405	重層的な住宅セーフティネット（安全網）の構築				
指標名	市営住宅の当該年度の公募戸数（戸）					
担当課	住宅政策課		連絡先	2 2 2 - 3 6 6 6		
1 指標の説明						
年4回実施している市営住宅の公募戸数						
2 指標の意味						
低額所得者に対するセーフティネットとしての住宅が一定量確保できたかどうかを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻す。 出典：京都府住生活基本計画						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	677	708	31戸増	700	京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻す。	101.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		700戸	27年度	101.1%	京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻す。	
5 評価基準						
最新数値が a：700戸以上 b：650戸以上700戸未満 c：600戸以上650戸未満 d：550戸以上600戸未満 e：550戸未満			6 基準説明			
			京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻した戸数700戸を達成した場合をaとし、700戸未満については50戸刻みとしたうえで、b以下を設定し基準を作成			
7 評価結果						
		23	24			
	-	b	a			